

2022（令和4）年度 事業計画

1. 事業計画の基本方針

2022年度も新型コロナウイルス感染症の先行きは不透明な状況ですが、「ハマ発明教室」の休会を回避しながら、当会は会員個人による発明、アイデア、創作物の創出が容易になるように支援や環境整備に関する事業や、会員に対して特許法など知的財産に関する学習、啓発、普及活動に関する事業などを主に行います。

また、新型コロナ禍の影響により拍車がかかった会員数減少は、新しいアイデアや着想の多様性も縮小に影響を及ぼすため、会員の勧誘方法の多様化を図る等の方策を講じて新規入会者の増加を目指します。

次に、市役所担当課や県内工業会等を通じ会員の発明作品を企業・事業者を紹介方策を開拓し、製品化チャンスの増加を目指します。

新しい方策の実現の為に、会員からの寄付金（よこはま夢ファンド助成金）や、過去の繰越金も利用し、会員増加、企業への情報発信に積極的な予算配分を行います。

会員からの意見を求め、会員が望む発明技量の向上策、会員の発明ライフの充実を目指します。

2. 具体的事業項目

No.	大項目	中項目	詳細・補足・課題	実施予定	場所	定款上の事業分類
1	ハマ発明教室開催(日曜発明教室)	集合型開催 オンライン開催 第2部テーマのバリエーション、事前予告	①新型コロナ禍3年目。休会を回避し、発明活動の停滞回避。 ②変化する「特許・意匠登録」の法律、最新知識、情報提供を行います。 ③他団体や企業担当者の講演など ④発明教室の表彰について、作品発表者に対し「発明ポイント」を贈呈するポイント制に変更します。（別途、第6号議案）	毎月第2日曜日	リアル開催、オンライン開催、ハイブリッド開催	①発明教室開催
2	会員への情報提供の継続・強化	ホームページ「会員専用ページ」の内容充実。 「ハマ発明ニュース」毎月継続 明細書用語検索機能開発 過去の発表発明のバックナンバー閲覧提供 「ハマ発明ニュース」バックナンバー閲覧提供	①会員専用ページを、新規会員を含む会員にとって「生涯学習の場」「実務のナビゲーションの場」となるよう充実を図る。 ②発明遺産の閲覧を可能とする。	毎月末まで 随時	メール配信 ホームページ：会員ページ	当会全般の付帯事業

No.	大項目	中項目	詳細・補足・課題	実施予定	場所	定款上の事業分類
3	ホームページ（対外）の充実		広い層の支持が得られるように内容の改善・充実目指します。	随時	ホームページ	会全般の付帯事業
		①広報機能				
		②紹介発明品の範囲拡大	発明品の紹介を希望する全国の発明家にホームページ上の場所を提供します。	即時		④発明品の公開
		③会員発明品紹介	HP掲載を希望する会員の発明品紹介を掲載します。			
③「ハマ発明ニュース」バックナンバー公開の拡大	1年以上経過したものを掲載します。					
4	会員増強（個人・法人）、協賛法人・マッチング企業の開拓					定款第3条「目的」第4条(4)(5)科学技術振興、経済活動活性化
		①個人会員増加策の実施	「アイデアを形にしたい方」「製作済作品を発表し意見を知りたい方」への入会勧奨を強化するため、入会勧奨チラシ等ホームページ以外の方策を開始します。勧誘チラシ設置個所開拓。	総会にて予算承認後	公的施設へのチラシ設置	
		②法人会員増加策の実施、協賛法人・マッチング企業開拓	自前での開発力に乏しいなど様々な事情により、新商品を求める法人・企業への情報提供を市役所担当課や県内工業会等と連携し開拓します。当会、及び発明品の紹介チラシ配布。	総会にて予算承認後	工業会等の会報へのチラシ同封送付依頼	
5	先行技術文献の調査・出願支援		先願人の権利範囲、調査	随時受付	—	⑤先行技術文献調査・検索支援事業
		明細書作成アドバイス事業	権利化実現、高度アドバイス			
		オンライン出願支援	オンライン出願ソフト使用法支援			
6	試作サポート事業		アイデアを形にする方法や手段、またその手配に関する助言や仲介	依頼受付後随	—	⑥試作サポート
7	発明・考案の展示発表（対外的）		新型コロナウイルス感染症の推移を見ながら、開催への参加を検討します。	イベント参加	県下	②展示発表会の開催
		展示会				
		販売会参画 体験会				
8	出前講座の実施		依頼に基づき出前講座を行う。	随時	県下	③出前講座の実施
		受託講座				
9	個別テーマ勉強会		勉強会を希望する会員に、グループ勉強会開催の支援（告知、セルテ使用、ZOOM利用等）を行います。	希望により	リアル、オンラインなど	定款第4条(4)技術振興